

**中国江蘇省常州国家高新技术開發区・  
日中インテリジェント製造（常州）産業パークに係る  
業務協力覚書の締結について**

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）および中国現地法人であるみずほ銀行（中国）有限公司は、9月28日、中国江蘇省常州国家高新技术開發区との間で、当地に設立する日中インテリジェント製造（常州）産業パークについて、投資促進、相互協力等に係る業務協力覚書を締結しました。

江蘇省常州市は、長江デルタ地帯の中心地に代表的な工業都市です。常州国家高新技术産業開發区は、1992年に設立後、国家級ハイテク産業開發区として、自動車、自動車部品、機械設備等の製造業を中心に、既に1,800社を超える外資系企業が進出し、内約160社の日系企業が拠点を構えています。

今般の日中インテリジェント製造（常州）産業パークの設立は、新エネルギー自動車、人工知能、スマート製造等の新たな領域について、産業の高度化を図るとともに、日系企業の誘致等を促進するものです。

〈みずほ〉は、2016年10月に常州国家高新技术産業開發区と業務協力覚書を締結して以来協力関係を構築してきましたが、本覚書を通じ、日中インテリジェント製造（常州）産業パークへの企業誘致に関するアドバイスや投資説明会開催等への協力を行い、進出を検討しているお客さまへの円滑な進出サポートを一層強化していきます。また、日中企業間のアライアンスやイノベーション企業支援の知見の提供等を通じて、常州市ならびに常州国家高新技术開發区の経済発展、産業発展にも貢献していきます。

（ご参考）常州国家高新技术産業開發区概況（数値は2019年）

概要	中国常州市北部に位置 面積：508km <sup>2</sup> 、人口：約70万人
主要産業	自動車、自動車部品、機械設備、新素材、バイオ医薬品等製造業
GDP	1,544億元
輸出入総額	119億ドル

以上